

1999.8/29

快 晴



MTB 緑清疾走



海から山へ・・・手から足へ・・・パドルからハンドルに持ち替えて・・・。

盆休みにカヤックで素晴らしい海の世界を満喫していたのだが、潜りすぎで鼓膜を破損してしまい、私の今年の海は終わったのか？・・・、そして海から山へ、手漕ぎから足漕ぎへの *Change* である。何分に多趣味であるので「時間が余る」という言葉は私には通用しない。

いつも同行している師匠でもあり、素晴らしいパートナーの加藤氏は別行動で低山ハイクにあちこち歩いて腰痛の様子を確かめている。

2週連続で、今この峰山に来ている。海の青さ、透明度も非常に素晴らしいものがあるが、やはり山も緑鮮やかで空のスカイブルーとすごくマッチしている。残暑は厳しいので



あるが、この大粒の汗も高度700m ~ 1000mの稜線では気にはならない。

先週8/22は、峰山の帰りに津山から来た「赤木さん」と出会いゴールの雪彦で「一期一会」のよき思い出となった。

今週は気合いを入れて、雪彦登山～MTB 峰山～暁晴山～登山道～峰山周回～雪彦（MTB 総距離72km）と計画を立てた。

現地8時スタートで雪彦山登山。結果は上々で山頂まで22分45秒で登りきりロープやクサリは一切使わずに1時間10分で下山。

MTBに乗り換えて雪彦～峰山林道の1時間ペダルを回しっぱなしである。このまでの約

10kmが非常に足腰に負担のかかるしんどいところである。最高斜度13%である、立ち漕ぎをすればリアタイヤが空舞いするほどである。



もちろん私も腰痛（20年来）持ちであるので腰にストレスが極度に溜まれば下りてストレッチをして、要所要所に出ている心地よく冷たい *Fallshower* を浴びて給水する、これは海では味わえない。

林道を通ってからの峰山眺晴山の5.5kmの急な登りは、時間も昼前とあって強い日差しにあえぎながら、大粒の汗をしたたり落とし全身びしょ濡れになりながらの格闘である。



氷ノ山



峰山高原

眺晴山 1077m からは、空気も澄んでいて瀬戸内海が見えるが今日は明石大橋までは確認出来なかった。来冬おじゃまする氷ノ山や三の丸方面もクッキリと見渡せる。また峰山高原の緑豊かで新鮮緑化である。その中にも美しい小さな高山植物が頑張っていて咲き誇っている。



山ブドウ



峰山の登山道はあまり整備がされていなく少し薄気味悪い状態で、熊でも出てこないかと奇声を発しながら通過した。周りが銀世界だと非常に明るいのでやはりここは冬のXCスキーが一番お気に入りである。

しかし、MTB 総距離 72km はロードレーサーに比べて対象にならないほど時間もかかり非常に疲れるものである。雪彦にゴールしたのは15時前であった。

このコースは、トラックやダンプなどの心配は全然なくオフロード車にもほとんど出くわさないし、何せ景色が抜群で自然に鼻歌が出てくるのである。やはり自然は素晴らしい！。



低山ではあるが、「眺望絶佳」のごとく「風光明媚」の言葉があてはまる場所である。